

# 中小企業景況調査結果

【平成 29 年 4 月～6 月】

富士商工会議所調べ

## ◇ 調査実施要領 ◇

富士市内中小企業の景気動向と経営状況について調査を実施した。  
製造・建設・卸売・小売・サービス業の 5 産業、200 事業所(回収率 71.0%)を対象に、  
「平成 29 年 4 月～6 月」までの 3 ヶ月間の生産・売上および経営状況の調査を行い、その結果を産業別にまとめた。

### DI (景気動向指数) とは

『上昇・増加・好転』したとする企業割合から、  
『下降・減少・悪化』したとする企業割合を差し引いた値。

前期…29 年 1 月～3 月 今期…29 年 4 月～6 月 来期…29 年 7 月～9 月

表中の矢印=5ポイント以上の推移を上下矢印で表し、5ポイント未満は横ばい矢印で表示した

## ◇ 今期調査の概況 ◇

主要DI	前回調査		今期調査 (前年同期)		来期予測
業況	▲3.7	↓	▲14.9 (▲34.9)	→	▲15.0
売上	12.0	↓	1.4 (▲13.6)	→	1.4
採算	0.0	↓	▲14.8 (▲23.5)	→	▲14.9

今期調査では、全産業合計の業況・売上・採算 DI ともに下降となり、前回調査の来期予測に近い結果となった。また、来期予測については、全産業合計の業況・売上・採算 DI ともに横ばいの見込みとなった。

主要 DI を産業別にみると小売業が前回調査から大きく下降しており、業況 DI は 26 ポイント、売上 DI は 44.3 ポイント、採算 DI は 50 ポイント下降した。しかし、コメントでは厳しい声ばかりでなく、今後への期待の声も寄せられ、来期予測については、売上・採算 DI は上昇となった。また、建設業は売上 DI が 10.7 ポイント上昇したものの採算 DI は 31.7 ポイント大きく下降した。コメントでは、「公共工事の減少によりさらに競争が激化し、厳しさを増している。」との声が多く寄せられた。

経営上の問題点では、製造業とサービス業が「設備老朽化」、建設業・卸売業が「過当競争」、小売業が「売上、利益減による資金圧迫」が 1 位となった。また、「人材不足」が全業種の上位に入っている。

## ◇ 全産業の動き ◇

### 〔業況のDI〕 卸売業は横ばい。製造業、建設業、小売業、サービス業は下降。

来期は、建設業は上昇を予想。製造業、小売業、サービスは横ばいを予想。卸売業は下降を予想。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	12.5	↘	▲2.7 (▲28.2)	→	0.0
建設業	4.0	↘	▲9.4 (▲24.0)	↗	▲3.1
卸売業	▲4.7	→	0.0 (▲45.4)	↘	▲15.4
小売業	▲19.0	↘	▲45.0 (▲38.4)	→	▲45.0
サービス業	▲22.2	↘	▲32.0 (▲40.7)	→	▲28.0
全産業	▲3.7	↘	▲14.9 (▲34.9)	→	▲15.0

### 〔売上高のDI〕 建設業は上昇。卸売業は横ばい。製造業、小売業、サービス業は下降。

来期は、製造業、小売業が上昇を予想。サービス業は横ばいを予想。建設業、卸売業は下降を予想。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	22.5	↘	2.7 (▲9.3)	↗	13.5
建設業	8.0	↗	18.7 (0.0)	↘	9.4
卸売業	19.1	→	18.5 (▲40.9)	↘	7.4
小売業	14.3	↘	▲30.0 (▲11.1)	↗	▲25.0
サービス業	▲7.7	↘	▲15.4 (▲11.1)	→	▲11.6
全産業	12.0	↘	1.4 (▲13.6)	→	1.4

### 〔採算のDI〕 サービス業は上昇。製造業、建設業、卸売業、小売業は下降。

来期は、製造業、小売業が上昇を予想。建設業、サービス業は横ばいを予想。卸売業は下降を予想。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	5.0	↘	▲5.4 (▲28.1)	↗	0.0
建設業	16.0	↘	▲15.7 (▲12.0)	→	▲15.6
卸売業	9.5	↘	0.0 (▲31.9)	↘	▲18.5
小売業	0.0	↘	▲50.0 (▲29.6)	↗	▲35.0
サービス業	▲30.8	↗	▲15.4 (▲15.4)	→	▲15.4
全産業	0.0	↘	▲14.8 (▲23.5)	→	▲14.9



## ◇ 産業別の動き ◇

※コメントは回答に基づき要約しています。

### 〔製造業〕 景気ムード…【低調】

『製紙』…「相変わらず低調。売上不振の為、生産調整が続く。」「とにかく採用が厳しい。」「“企業努力”により、売上減・原材料高を凌いでいるが業務改善も限界がある。対応策を考えたい。」とのコメント。

『紙加工』…「人員確保が難しい中、人件費UP、働き方改革等は、中小企業にとっては厳しい。」との声。「家庭紙は他品種に比べて安定していることと、インバウンド需要を見越し、紙加工業者が多く参入してきており、競争が激化すると思われる。」「メーカーの原紙生産量が低迷している為、当社の生産加工も必然的に減少してきている。今後は値上げ交渉が必要となってくる見通し。」とのコメント。また「安価で受注してきた企業は、利益を出せず廃業に追い込まれている。」との情報。

『機械器具』…「小規模の受注は有るものの、全体的には横ばい状態である。」「既存顧客の受注は多少増えているものの、新規顧客は減っている為、大幅な改善が見られない。」「益々厳しい経営を強いられる。」との一方「業況は上昇。受注過多で生産が間に合わない恐れ有り。今後も好転を見込んでいる。」との声。「海外市場では、堅調なタイや回復基調にあるインドネシアなどで販売増を目指す。中近東とアフリカの回復状態はかなり悪く、回復にはしばらく時間がかかると思われる。」「国内販売は微増、海外市場での販売は増えると思込んでいる。」との情報。「過去になかったようなクレームが多く発生し、過剰な品質を求められている。客に対し、メーカーが過敏になっていることが原因とみられる。」「品質の向上の一方、コストダウンを要求され、より一層の企業努力を求められている。」とのコメント。また、「雇用の改善がないと、仕事が回らない。」との声。

『機械部品加工』…自動車部品では「決算後の在庫状況により、受注は昨年より減少した。」との声。工作機械部品等では「販売価格の低下・値上げ難、過当競争、材料仕入価格の上昇により、経営が圧迫されている中、生産量は横ばい傾向にある。」「世間では景気上昇の話は聞くが、中・小・下請け企業においては、大手メーカー等との格差がさらに拡大している為、ますます厳しい状況が続くと思われる。」との声。「顧客が一巡している為、緩やかに減少していくと見ている。」一方、「低調であったが、今後は、中国市場の回復で自動車・工作機械等期待ができると思う。」とのコメントも。そのほか「人材確保が厳しくなっていくと思われる。」という予想。

『食料品』…「販売価格の値上げ難の上、品質に対する要求が高まりコストUPに繋がっている。今後は、製造原価を低減する為の企業努力が必要。」「生産管理・衛生管理等の取引条件が厳しく、転廃業せざるを得ない事業者が出ている。」との声。「人口減、高齢化に伴う消費量の減少を痛感している。顧客のニーズに合った物をタイムリーに提供することが必要になってきていると思う。」「消費動向が、価格重視から本当に欲しい物、必要な物しか買わない傾向にある。時代は確実に変化している。」とのコメント。「概ね大きな変化はないが、メディアでの健康番組などで注目された食材があるとダイレクトに発注に影響する。しかし一過性であり、どの程度流れが持続するか見極めが難しいところである。」「新製品・新商品が出尽くしたと思う。今後は、外国の目新しい物が市場をつくっていくと思われる。」との声。茶は「消費の低迷で市場価格が低下している。」「農業者の高齢化により、国内産は減少の一途である。茶をはじめ、生産者の育成、製品の販売方法の大変革が必要と考える。農産品メーカーとしては、地域の特徴ある商品づくりをしたいが、原料となる特産品が無い。他市との差別化の為、農家の育成と特徴ある農産物の開発をすべきである。」そのほか「人員の確保が増々厳しくなりそう。」との声。

	好転%	不変%	悪化%	今期DI	来期予測
業況	18.9	59.5	21.6	▲2.7	横ばい
売上高	32.4	37.8	29.7	2.7	上昇
採算	21.6	51.4	27.0	▲5.4	上昇



## 【建設業】 景気ムード…【低調】

『総合建設』…「赤字覚悟で受注する業者があり、仕事の質の低下や人工代などの下落が気になる。」「過当競争により業界全体の経営が非常に不安定だが、当社は、今後も価格競争をせず安心安全を基本に自社の経営体質を強化していく。」とのコメント。「あまり良い方向にっていないと思う。発注されても金額がかなり安くなっている。」「公共工事の減少により益々過当競争となり、利益率が下がっている。利益率の低下をボリュームでカバーしているのが現状である。」今後についても「厳しい状況は変わる見込みがない。」とのコメントが寄せられた。そのほか「社内の人員が不足している。」「地域における公共工事等については、行政指導により、できるだけ地元の業者を使うよう条件を付けると良いと思う。裾野、長泉、御殿場等は業者に対して行政指導をしている。」との情報。

『一般住宅』…「建設関係は堅調に推移していると見られるが、資材価格の高騰が懸念される。」「全体的に需要が低迷している。経済、市場、地域の活性化を図って安定して欲しいと考える。」との声。

『建設関連』…「老人ホーム等の高齢者施設・医療介護施設、保育園等の補助金による施設が増えている。また一部の景気の良い企業の設備投資もある。」「鉄骨関連は、オリンピック開催1年前まで、人手不足になるほど忙しいと思われる。しかし、地元の仕事が少ない。」との情報。「今は景況も落ち着いている感があり、そう悪くない印象を受ける。重大なインシデントが起きない限りは、当面安定していくのではないか。」とのコメント。「年々、大型工事が少なくなり、利益率は下がる一方である。小さい現場でも段取りは一緒なので、効率は悪い。」「益々過当競争になっている。」そのほか「CNF等次世代の地域の基幹産業が育つことを期待している。」とのコメント。

『土木関連』…「建設業元請が民間工事において、未だ低価格で受注しており、下請が苦勞しているのが見受けられる。関東、名古屋方面では良い単価が出ているので、今後は低価格で受注する下請がいなくなりそうである。」との情報。「公共事業の減少に伴い仕事も減少し、民間工事の受注の過当競争につながっていくため採算は悪化していく。」「骨材部門（砂利・砂等）については、販売価格が安価のため採算がとれず生産業者が激減した為、供給不足になることが予想される。事業継続ができるよう値上げを実施する。」今後について「夏過ぎには御殿場方面が新東名、バイパス関係の土木工事で忙しい状況になる。」「造園に限らず土木工事・建設工事等の仕事は増加傾向にある。」「クリーンセンターの工事が富士の工事で大きな存在になっていくと思う。」との声。また、「若者の就業者が少なく人手不足」の声が寄せられ、中には「外国人労働者の雇用を検討する。」とのコメントあり。

造園関連は「造園年間管理の入札において、組合に加入していない業者が低い金額で落札しており、採算割れの維持管理が多く見られる。」そのほか「29年になってから若年労働者確保のため、公共労務単価の再々度の値上げがあったが、その効果はまだ見えていないようだ。最近の国交省発注の工事では、週休2日制を確保する条件で試行発注も見られる。」との情報。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	12.5	65.6	21.9	▲9.4	上 昇
売上高	37.5	43.8	18.8	18.7	下 降
採 算	15.6	53.1	31.3	▲15.7	横ばい

## 【卸売業】 景気ムード…【低調】

『機械器具』…「弊社は製紙業界がメインの為、来期は岳南排水路の点検時期により需要が上向く。」「今は安定している様子。」「仕入先の決算報告を見る限り好調であると思うが、地域・業界格差もあるように感じる。」との声。「中小零細企業では、人手不足、高齢化・後継者の問題が進んでおり、全体的に縮小傾向にある。特に人手不足は顕著で、縮小せざるを得ない企業が多い。」との情報。「インターネットの価格競争により販売価格が下がり、利益が確保できない。」とのコメント。そのほか「日本製紙クレシアと春日製紙工業が合同で、日本製紙富士工場の中に家庭紙の工場を新設するが、地元経済の活性化に



つながってくればという希望を抱いている。」「新富士駅の北側にトラスコが進出したように有名メーカーや全国レベルの商社も進出しているので地元中小企業にとっては厳しい状況が続いている。」との声。

『自動車部品』…「車検台数は、前年に対し 104%という予測がされている。しかし、ユーザーの車に対する経費の引き締め感が強く、売上は若干の伸び程度である。」とのコメント。

『紙』…「原材料（化成品）の値上げにより厳しい。」「家庭紙以外は、まだまだ縮小していく傾向にあり、厳しい状態は当分続く見込みである。」「売上の大半を占める紙卸は、主要顧客である印刷業者の受注減により売上が減少している。さらに価格競争により利益が出ない状況である。」など厳しい声。また「本業である紙の在庫を減らし、売上減を補う新規事業を軌道に乗せたい。」とのコメント。

『製紙原料』…「段ボール原紙をはじめ、板紙生産は活発だが、新聞用紙・情報印刷用紙は、IT化の流れの中で生産は減少傾向。」「中国を中心としたアジア各国の古紙需要は底堅いものがある。特に中国の古紙需要は目が離せない。」との声。「中国への古紙輸出の最大国アメリカでは、国内での古紙需要の増加により、輸出余力が減少している。その分、日本への引き合いが強まって来ている。」「原料輸出価格と国内価格の差が極端な開きがあり、仕入競争が起きている。」との情報。「メーカーからの発注は多いが、原料の発生は少ない。」「古紙は減少傾向で見通しは良くない。」との声。

『再生資源』…「国内不況の為、輸出に頼っている。相場は落ち着いているが、スクラップ等の発注は不況の為、少ない。」「鉄鋼製品は、中国の安価製品の輸出が減ってきたことにより値上げが進んでいる。鉄スクラップについては、国内メーカーの買入量が少なく、また輸出も円高等により厳しい。鉄・非鉄リサイクル集荷については、ここ数年中国系業者の参入があり、集荷難が続いている。」との情報。「中国の動きに一喜一憂、米国新政府の保護貿易の行方、北朝鮮に対する中国・ロシア・米国の動きなどの政治的状況によって相場が動く。」と予想。

『建築材料』…「住宅ローンが低金利で推移しているので、住宅着工は昨年と同じ水準。大型・中型の非住宅物件は増加している。」「今後について「長期的には人口減少により住宅着工減少が予測される。大型・中型の非住宅は鉄筋コンクリート造や鉄骨から木造化の傾向にある。しかし、中、大規模木造建築は大工等の職人が不足しており、今後の課題である。」とのコメント。

『工業薬品』…「家庭紙製造が非常に好調である。」「業界内の再編は一段落。新規事業、新規用途開発に力を入れる傾向あり。既製品については相変わらず厳しい。」「取引先再編に伴い、過当競争が増している。」との声。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業況	22.2	55.6	22.2	0.0	下降
売上高	37.0	44.4	18.5	18.5	下降
採算	25.9	48.1	25.9	0.0	下降

## 【小売業】 景気ムード…【厳しい状況】

『衣料品』…「富士市の産業が低迷している為、作業衣等の需要は限られており、あまり伸びがない。」「少子高齢化、人口減少により益々悪化するように思われる。」「個人店は大型店に圧倒され思うように物が売れない。最近個人商店の閉店が多くなってきている。」との声。

『各種食料品』…菓子では、「個人消費は力強さを欠いているが、その中でもインバウンド消費やネットを利用した消費の伸びにより一定のマーケットは確保できている状態である。」「今後について「主力商品を軸とし、更なるインバウンド消費への強化を続け、緩やかな伸びが見込まれる。原材料価格は油価の大幅な振れがない限りは現状での推移が見込まれる。短期的な視点では、お中元商戦での利益確保が重要であるがこちらも軟調。」とのコメント。「天候不順で季節物の動きが鈍い。」「猛暑予想に合わせた商売をしていけば良いと思うが、原材料の出来が気になる。豊作を願うのみである。」との声。「菓子業界最大のイベントである菓子大博覧会が終わったが、一般顧客への認知度が低い為、今後の課題として取り組まなければならない。」「消費者庁は、消費者の意見という大義名分で法律をつくっているが、最終的



には消費者に費用負担が回る。」とのコメント。呉服は「販売価格の低下、需要の減少のダブルパンチにより、生産現場では廃業が多発している。」との情報。茶は「今年の静岡県産新茶の生産量は2割ほど減少した。原因は例年に比べ気温が上がらなかったことだと思われる。」「生活習慣の変化によるリーフ離れは進行しており、大幅ではないが毎年減少が進んでいる。」との声。「国内需要の低迷をよそに、海外では空前の日本茶ブーム（抹茶・加工抹茶）で輸出量は伸び続けている。2020年のオリンピック開催に向け、東京の渋谷を中心に新しい形での日本茶発信が活発になっている。」との情報。今後について「まだ生産過多な状況だが、今後は後継者不足や茶価の低下により生産者が減り、良質な茶葉の提供ができなくなることが予想される。」「今年は天候の理由で全体的に新茶収穫が遅れた為、元々遅場所である県東部の茶の価格は上昇した。しかし、ここ近年の価格が低いため来年以降も価格が上昇する保証はない。富士地域では市場価格に流されない独自の付加価値をつくるのが急務である。地域全体での活動は難しいと思うが自社でできることから形にしていき、ブランド化を発信していきたい。」とのコメント。そのほか「人手不足」との声が寄せられた。

『日用品・雑貨』…「来期は、企業の夏休みなどにより休日が増える為、更なる需要の低迷が考えられる。」との一方「最近ではサングラス、UVカット等太陽光から目を守るものや、白内障の術後用メガネ、パソコン等からのブルーライトを遮断するためのブルーカットレンズ等の需要が増えている。」との声。玩具では「少子化は止まらないが、ここ数年業界自体の市場は拡大傾向にあると伝えられる。それを牽引しているのは大手メーカーのナショナルブランド商品であり、それらメーカーは小規模店舗は相手にしておらず、業界の動向は参考程度の情報でしかないのが現状である。」との声。また「やり方によっては良い方向へと進んで行くのではないかとと思われるが、消費が冷え込んでいるので先行きは不透明である。」とのコメント。

『自動車』…「7月は各自動車メーカーの販売店及び代理店がボーナス商戦を繰り広げ、ワンプライス車、特別限定車などを準備し、販売促進を計画している。売上増に期待したい。」との声。

『自転車』…「電動アシスト車の販売が好調で客単価を大きく押し上げた（約20%）。日本製品の安全性が好評で、通学の足として大幅アップした。」今後について「輸送費の値上がりにより5月末日より仕入原価も8%強値上がりした。今後販売数が減少する可能性があるだろう。」との声。

『機械器具』…「大きな変化もなく安定して来ている。」「売上は増加傾向にあり、経費面も借入金利子率が下がり、ガソリン代も120円/ℓの安値で安定しており、やり方次第では利益も見込める。」との予想。

『その他』…「年末の富士山女子駅伝が吉原本町通りを通過することに決定した。吉原商店街においても特別な応援方法を考え、盛り上げていくつもりだ。」「吉原商店街では、ここ2～3年で急激に商店街の中心購入者であった年配女性の来街者が減少した。今年に入ってから老舗も含めて数店舗の閉店があったが、今後もさらに数店舗の廃業が伝わっており、一層のシャッター化が進む。ただ、人気番組の企画に選ばれたイノベーションビルの企画や、以前では見られなかった外国人観光客が増えているといった声もあり、絶望的な話ばかりではない。一部では通販で成功を収めている店舗もあり、良い例が身近にある事は力強い。」とのコメント。「富士商店街では、物販店の撤退により来街者が減少している。」「後継者不足により空き店舗が増加している。」との声。「富士登山シーズンを迎えるが、特に目立った動きはない。」「観光産業については民間の力だけではどうにもならない。しらす街道、漁港の成功例があるように、やればできることもある。富士市の市街地に観光を意識できるような取り組みを計画してほしい。」との要望。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	0.0	55.0	45.0	▲45.0	横ばい
売上高	20.0	30.0	50.0	▲30.0	上 昇
採 算	5.0	40.0	55.0	▲50.0	上 昇



## 【サービス業】 景気ムード…【厳しい状況】

『**飲食**』…「夏に向かって景気は上向いてくると思う。しかし、人手不足による人件費等コストの上昇が懸念材料で、大きな課題が残る。」「企業の業績が好調のようで、当社の売上にも良い影響が出ているものと考える。」との情報。

『**クリーニング**』…「個店では経営者の高齢化、後継者不足及びドライ溶剤の法律によって閉店せざるを得ない店が出てくると思う。」との声。

『**運輸・倉庫**』…「景気も緩やかに上昇しているので2～3年はこの状況が続くと思われる。アベノミクスやオリンピックの効果が出てきたのではないだろうか。」との声。「テレビ、雑誌等で運送業界の人手不足や宅配業者の過重労働の実態が報道されているが、若い人材が進んで流入してくるような官民一体となった改革（労働時間・賃金・免許制度の問題等）が早急に必要である。」「他業種に比べて若い人材が不足しており、ドライバーの高齢化がますます進んでいく。10～20年後には国内の物流が捌き切れなくなるのではないだろうか。」と懸念する声。

『**不動産**』…「岳南経済の低迷から需要が落ちてきた。今後も明るくなる経済動向が見えず、見通しは悪い。」との声。「余剰財産の処分要望が増えている。跡を継ぐ人がいなくなる不安があるのかもしれない。」「少子化や人口流出といった社会現象は少しずつ地域にも影響しており、不安材料の一つである。」「相続の増加に伴い、売却希望の土地、中古住宅は増加すると思われるが、売れるまでに時間がかかる。」「分譲地をエンドユーザーに売るよりハウスメーカーに売るケースが増えている。」との情報。「老朽化により設備維持が大変になってきた。自分の年齢も考慮し、今後の在り方を再検討しなければならない。」との声。

『**各種学校**』…「少子化などの影響により、過当競争が厳しい。」とのコメント。

『**求人広告**』…「求人難であるが、求人広告掲載の増加には繋がらない。市外への学生流出防止策が早急に必要である。」との声。

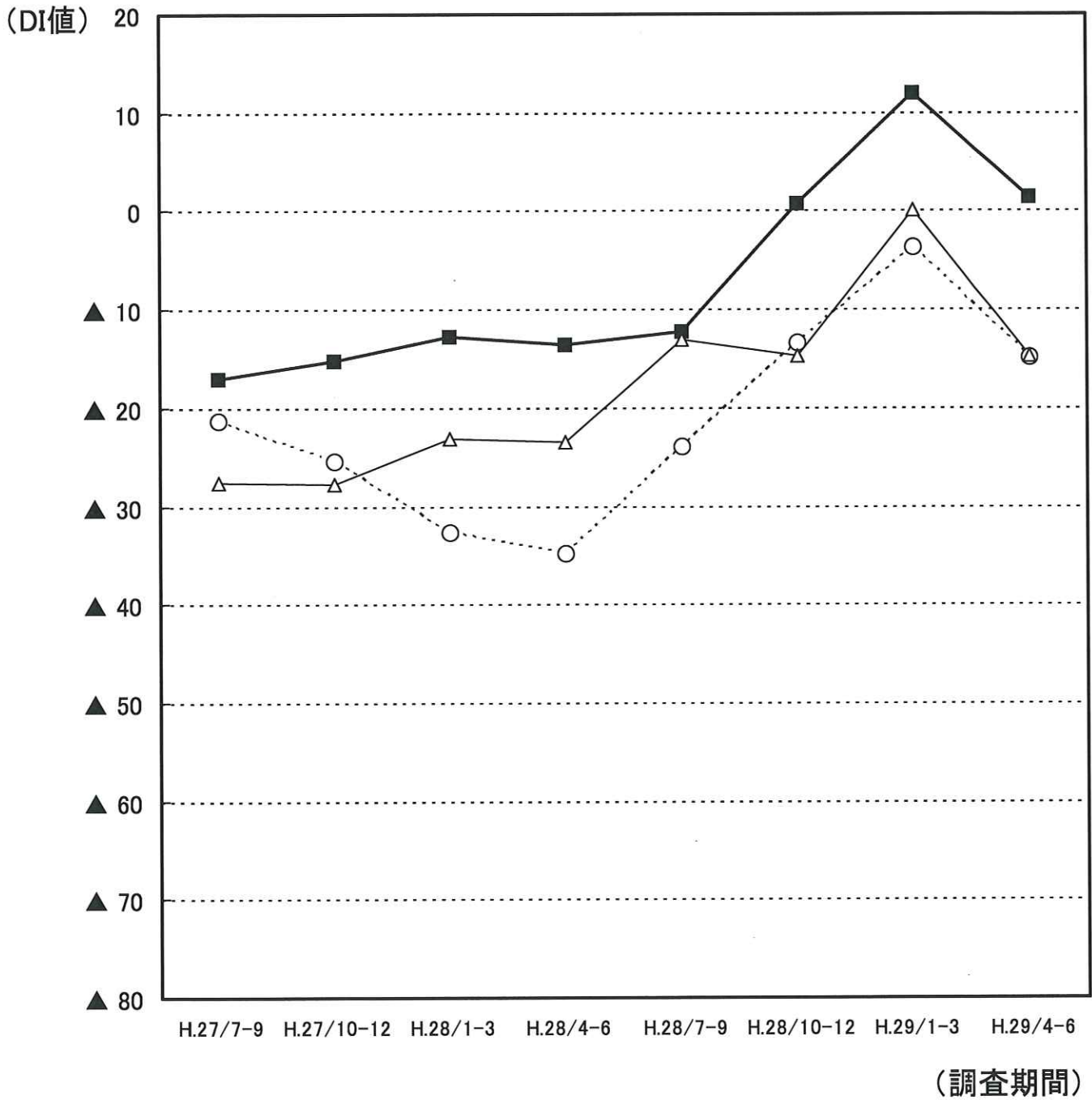
『**専門サービス**』…税理士事務所の顧問先では「業種により差はあるが、中小零細企業の受注が比較的安定している様子。結果として我々サービス業も特に悪い影響はなく、不変の状態と思われる。」との声。また「建築業は、リフォーム関係の業況が上昇気味。一方、小規模零細企業では人材不足傾向。飲食関係は苦しい状況から抜け出せないと思われる。」とのコメント。

『**その他**』…「レンタルから売り切り商品への移行が進んでいる。時間に制約があるレンタルは客離れが進んでいる。」との声。イベント業は「例年のイベントについては順調に受注している。新規イベントは少ないが、他社で行っていたイベントが弊社指名になることが増えてきた。また、今までにない業種からの参入あり。」との声。そのほか「新富士駅南口附近にホテルの建設が進んでいる。今後は元東芝寮の跡地の開発がどのようになるのか注目される。南口の開発が進むことに期待している。」とのコメント。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	8.0	52.0	40.0	▲32.0	横ばい
売上高	23.1	38.5	38.5	▲15.4	横ばい
採 算	19.2	46.2	34.6	▲15.4	横ばい

# 全産業主要調査項目の 前年同期比DI推移状況

■ 売上    ○ 業況    △ 採算



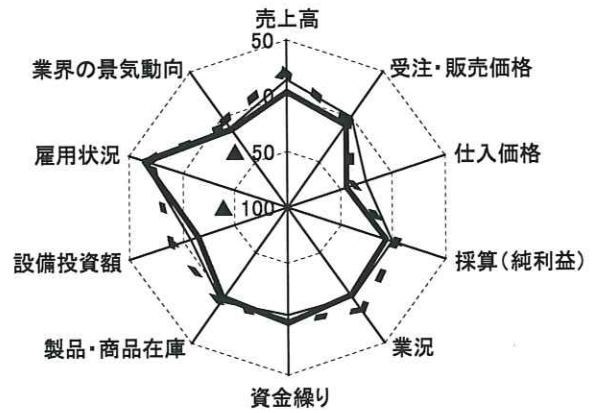


# レーダーチャート

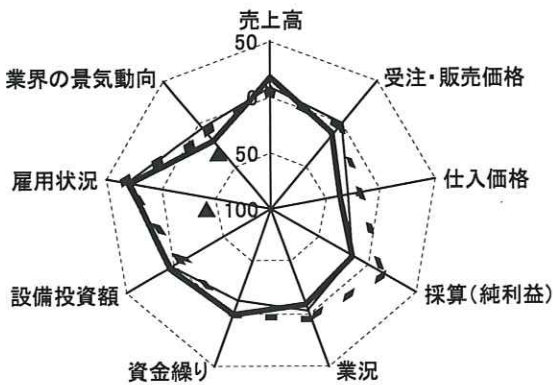
売上高	増加・減少
受注・販売	上昇・下降
仕入価格	下降・上昇
採算	好転・悪化
業況	好転・悪化
資金繰り	好転・悪化
製品・商品在庫	減少・増加
設備投資額	増加・減少
雇用状況	不足・過剰
業界の景気動向	好転・悪化

前年同期比	———
来期予測	———
前回調査時	- - - -

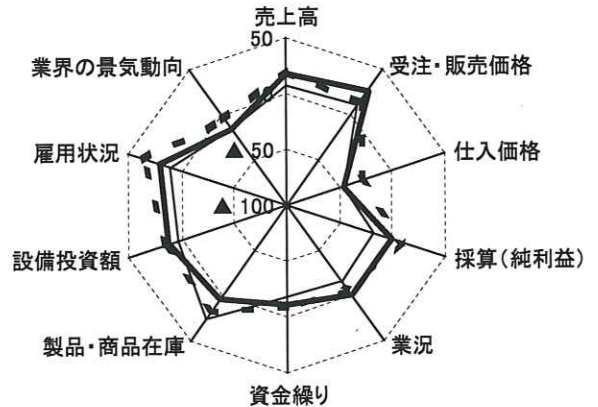
## 【製造業】



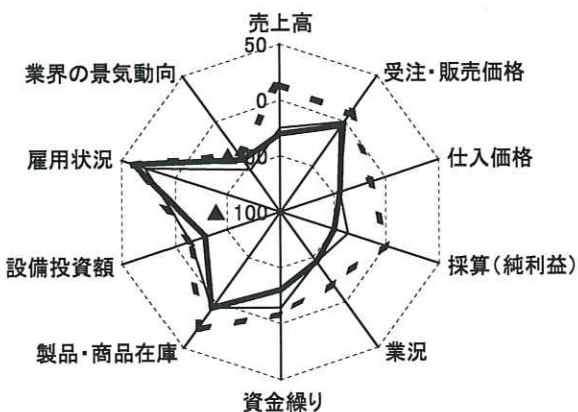
## 【建設業】



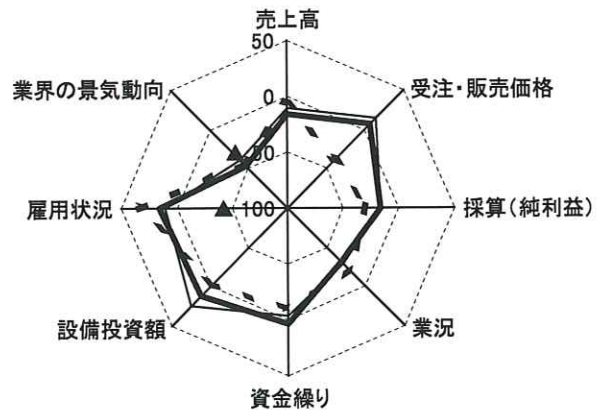
## 【卸売業】



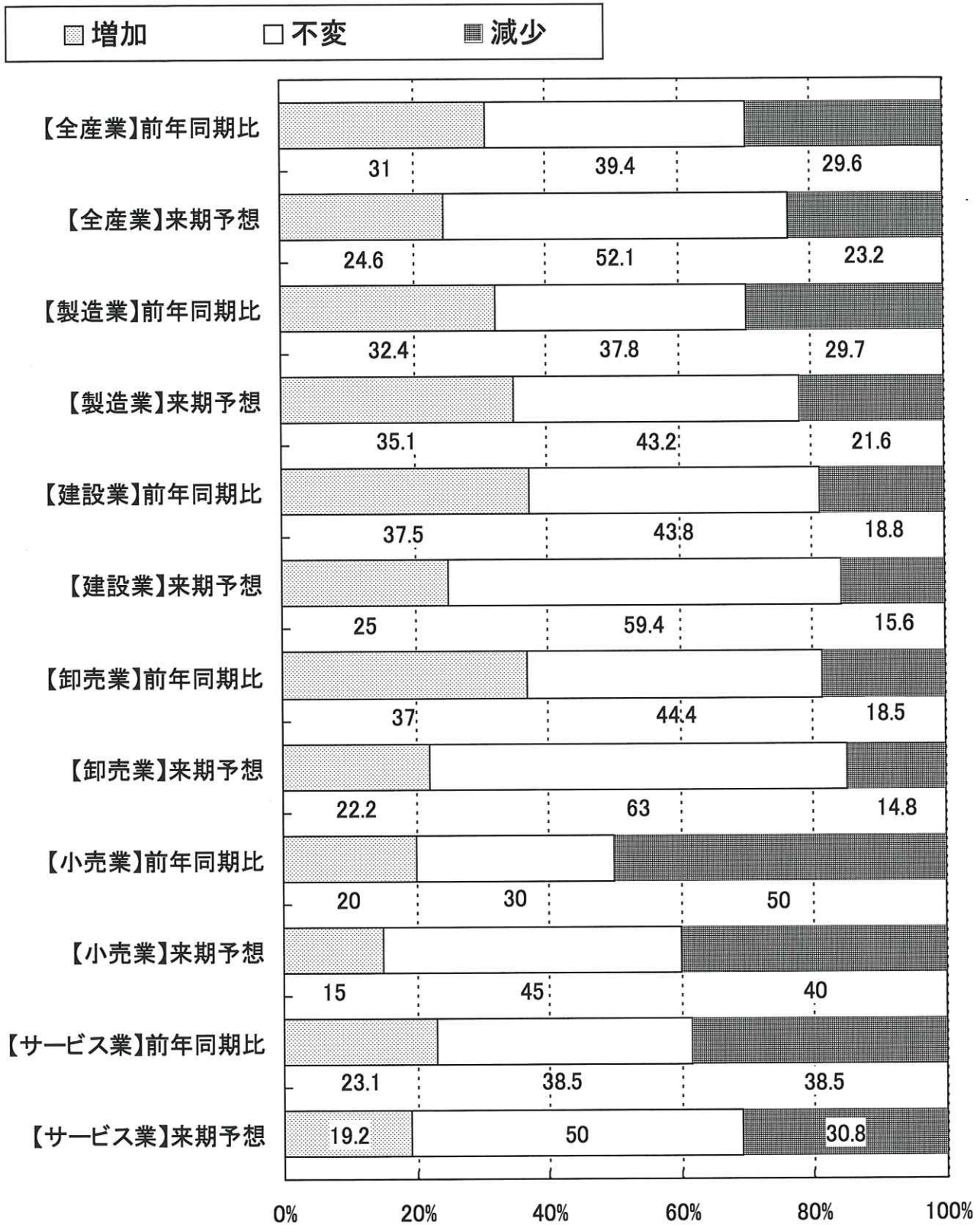
## 【小売業】



## 【サービス業】



# 売上高の前年同期比と来期予測





◇ 経営上の問題点 ◇

産業別	上位回答項目
製造業	<p>1 位 設備老朽化</p> <p>2 位 人材不足</p> <p>3 位 商品、原材料仕入れ価格の上昇</p> <p>その他 販売価格値上げ難／過当競争</p>
建設業	<p>1 位 過当競争</p> <p>2 位 人材不足</p> <p>3 位 官公需停滞</p> <p>その他 設備老朽化</p>
卸売業	<p>1 位 過当競争</p> <p>2 位 設備老朽化</p> <p>3 位 その他の経費増大</p> <p>その他 販売価格値上げ難／人材不足</p>
小売業	<p>1 位 売上、利益減による資金圧迫</p> <p>2 位 売上減に伴う利益減</p> <p>3 位 その他の需要の低迷</p> <p>その他 商品、原材料仕入れ価格の上昇／人材不足</p>
サービス業	<p>1 位 設備老朽化</p> <p>2 位 過当競争／売上減に伴う利益減</p> <p>3 位 その他の需要の低迷／人材不足</p> <p>その他 人件費高騰</p>